東京与論会創立９０周年記念

総会・式典・祝賀会

祝

と　き　平成２５年１２月１日（日）
ところ　アルカディア市ヶ谷（私学会館）

与論島航空写真	百合が浜
大金久海岸	百合が浜

東 京 与 論 会

与 論 町 町 民 歌

作詞　　内　与詩守
作曲　　益田　元甫

一、黒潮はるかに　明けわたり
朝日に燃える　さんご礁(しょう)
自然のめぐみ　拓(ひら)きつつ
あかるく進む　わが与論
　ああ　この空に　この海に
　みんなの夢が　あふれてる

二、港に世紀の　声すれば
畑にキビの　茂るうた
玉なす汗も　美しく
ゆたかに伸びる　わが与論
　ああ　この島に　この土に
　まことの花が　咲き香る

三、名残りもゆかしい　城の跡
あこがれ寄せる　百合ヶ浜(ゆりがはま)
昔をしのび　今を知り
心をむすぶ　わが与論
　ああこの町に　この郷(さと)に
　かがやく明日(あす)が　待っている

◇ 町章（昭和41年1月1日制定）

丸い輪（和）の中に「与」のダイヤをかたどり、
わが島をたたえ、いやさかえに豊かな島の躍進を
おもう。

◇ 町木：島クロキ（昭和58年指定）

◇ 町木：ガジュマル（昭和59年指定）

◇ 町花：ハイビスカス（昭和58年指定）

与論町人口（H25.10末現在）
人　口　　５４７６
所帯数　　２４９２
男　２６５８／女　２８１８

ごあいさつ

本日は、多くの会員の皆様参加の下、故郷与論町及び全国各地区与論会の方々、並びに在関東奄美郷友会の方々、さらには当会と親しく交流支援しております北区立東十条小学校の関係の方々など、東京与論会に対し日頃よりご理解とご支援を頂戴しております関係諸兄のご臨席を仰ぎ、東京与論会創立９０周年記念式典を盛大に開催出来ますことを、深く感謝致し心よりお礼申し上げます。

今から９０年前の大正１２年９月１日に発生した関東大震災により被災した当時関東在住の与論島出身者達は、やはりいざというときには郷土を同じくする者同志お互いが助け合い、励まし合いながら団結していかなくてはいけないとの思いを強くし、ここに東京与論会の前身である「在京与論相互共済会」が誕生しました。

そして、大正から昭和へ、昭和から平成へと時代は移り、この間「在京与州会」から「東京与論会」へとその会の名前を変えつつも、互助団結の旗印を下ろすことなく、この首都東京の地で、わが与論の先輩達は逞しく営々としてこの与論人の会を守り育てて参りました。

今日（きょう）、関東の地に生活を営む我々与論会会員一同は、この９０年という節目の年に当たり、諸先輩方の努力の足跡を偲び感謝を捧げるとともに、会を支えていただいている多くの関係者の方々と共に慶びを分かち合う日にしたいと存じます。

また本日この記念式典・祝賀会の開催並びに会の９０年の歴史を振り返る記念誌の編纂、発行という記念事業実施に当たり、会員を始め各方面から沢山の協力金を頂戴致しましたことに対しまして、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今日この会場には、これまで関東の地で永くご苦労されてこられたご高齢の会員の方々や、会の次代を担う働き盛りの若い世代の会員達も大勢ご参加いただいております。

本日は、こうして世代を超えて会員が一同に会してユンヌンチュの絆を確かめ合いながら、本会の卒寿を共に祝い、そして東京与論会の次の１０年、５０年先に繋がる更なる発展を誓い合う一日になることを心より祈念いたします。

平成２５年１２月１日

東京与論会会長　　竹内　英健

東京与論会創立９０周年記念

総会・式典・祝賀会　次第

第Ⅰ部　平成２５年度総会　11:30 ～

司会　福納 敏郎 幹事長

１．郷土遙拝、物故者へ黙祷
２．与論町町民歌斉唱
３．会長あいさつ
４．議事（会務・会計・監査報告、新役員選出 他）
５．その他

第Ⅱ部　創立９０周年記念式典　12:00 ～

司会　遠山 浩光　実行委員長

１．開式の辞		我謝 みどり	顧　問
２．式　辞		竹内　英健	会　長
３．ご来賓祝辞	与論町長	南　政吾	様
	与論町議会議長	大田　英勝	様
	東京都北区長	花川 與惣太	様
	全国与論会会長	嘉味田 洋祐	様
	東京奄美会会長	英　辰次郎	様
	東十条小学校校長	福田　猛	様
４．ご来賓紹介		福納　敏郎	式典委員長
５．感謝状贈呈（功労者17名）		竹内　英健	会　長
６．祝電披露		遠山　浩光	実行委員長
７．閉式の辞		叶　生二	顧　問

第Ⅲ部　創立９０周年記念講演　13:00 ～

演 題　与論を出た先人に報いる与論教育の現状と課題
（講師）　前与論町教育長　田中　國重　様

第Ⅳ部　創立９０周年祝賀会　13:30 ～

司会　五十嵐 千代 女性部長
向井　秀一　青年部副部長

○　祝賀の舞　かぎやで風（御前風）		会員（右頁参照）
○　乾　杯	与論町栄誉町民	佐藤　持久　様
○　開　宴		
お食事・ご歓談		
与論献捧の儀		
余興（演芸）		右頁参照
○　万歳三唱	関西与論会会長	本園　茂徳　様
○　閉　会		

余興（演芸）演目　出演者

◇（祝　舞）　かぎやで風（御前風）	立村ナヘ子、尾張 涼子、竹内 洋子 竹澤くみ子 （地謡）叶　生二、永井常誠、竹内康良 池田信忠、竹内英健、岡本聡子

＜余　　興＞

1．オープニング・エイサー	舞弦鼓（ぶげんこ）
2．（歌　唱）辺戸岬 他	寿里（じゅり）（林 寿里香）
3．（唄三線）遊び庭（なー）　他	あおいとさおり（中山青海、深澤砂織）
4．（琉　舞）マミドーマ	叶　生二、叶 千代子、堀切智慧子 永井 常誠、池田 信忠、立村ナヘ子 尾張 涼子、池田 増代、伊東みずえ 竹　成代、岡本 聡子　（ちゅらゆう会）
5．（漫　談）立ち話	喜島 春樹、向井 秀一、竹本 一貴
6．年男・年女大集合 ～ ゆがふー島、与論小唄 ～	クントゥグンジュー　（来年49歳） 与論中学22期卒業生（来年還暦者） 与論中学10期卒業生（来年73歳）
7．空手演武	入来 武久と門下生（入来建武他）
8．各地与論会＆奄美郷友会	応援参加者の皆さん
9．（舞踊）永良部百合の花～与論音頭	女性部の皆さん（与論会＆奄美会）
10．（唄・三線）たましいの島 他	かりゆしBAND
11．フィナーレ　カチャーシー	かりゆしBAND、舞弦鼓、会場全員

（ 展 示 の 部 ）

展示会場 ： ロビー

○ 与論会活動の軌跡	・東京与論会
○ 与論の歴史・文化	・会員及び与論町提供
○ 写真で見る与論（今と昔、他）	・会員提供
○ 東十条小学校交流関係	・東十条小学校提供
○ 会員の作品展示	・会員提供
○ 千代皇・入来建武応援コーナー	・番付表、ポスター 他
○ 災害支援コーナー　募金箱設置	台風被災写真、義援金募集要項

（ 議案１）　平成２３・２４年度　会務報告

平成２３年度

自　平成２３年１１月　８日
至　平成２４年１１月１１日

（平成２３年）

１１月　８日	東京与論会 **総会･懇親会**	大井町「日本民謡会館」
１１月２３日	奄美会青年部主催ソフトボール大会	浜田山公園
１１月２９日	ﾃｨﾀﾞﾈｼｱ交流会（奄美広域事務組合主催）	平河町都市ｾﾝﾀｰﾎﾃﾙ
１２月　３日	東京奄美会役員会・忘年会	目黒「三州倶楽部」
１２月１０日	東京与論会・東京沖洲会合同忘年会	神田「清瀧」

（平成２４年）

１月１５日	東京奄美会新年賀詞交歓会	上野「精養軒」
２月１１日	東京与論会拡大役員会・新年会	高田馬場「土風炉」
２月１８日	奄美を楽しむ夕べ(奄美広域事務組合主催)	東武ﾃﾞﾊﾟｰﾄﾊﾞﾝｹｯﾄﾎｰﾙ
２月１９日	「密航・命がけの進学」出版記念祝賀会	五反田「ゆうぽーと」
２月２２日	与論町消防団野本団長、大田副団長歓迎会	高田馬場「土風炉」
３月　３日	東京奄美会役員会	神田スポーツｾﾝﾀｰ
３月１１日	関西奄美会総会・芸能祭（祝電打電）	
３月２７日	東京奄美会役員会	神田「清瀧」
４月１０日	東京奄美会芸能委員会	同上
４月１２日	東京沖洲会会長和敏夫氏葬儀	西新井日本典礼葬祭場
～１３日	（与論会より献花、与論会役員弔問）	
４月１９日	東京奄美会芸能祭実行委員会	神田スポーツｾﾝﾀｰ
４月２９日	関西与論会総会（竹内会長、叶顧問出席）	尼崎市園田地区会館
４月３０日	東京与論会役員会	高田馬場戸塚地域ｾﾝﾀｰ
５月　４日	東京住用会総会（福納幹事長出席）	大井町きゅりあん
５月１２日	東京奄美会役員会＆芸能祭実行委員会	神田スポーツｾﾝﾀｰ
５月１３日	鹿児島与論会総会	鹿児島市ｼﾞｪｲﾄﾞｶﾞｰﾃﾞﾝ
	(佐藤顧問、竹内会長、福納幹事長出席)	
５月２０日	渋谷･鹿児島おはら祭り(女性部参加)	渋谷道玄坂
５月２６日	東十条小学校運動会（女性部参加）	東十条小学校
６月　３日	東京沖洲会総会（叶顧問､福納幹事長出席）	アルカディア市ヶ谷
６月　８日	横浜DeNAﾍﾞｲｽﾀｰｽﾞ試合観戦(奄美市後援)	横浜スタジアム
６月１０日	東京奄美会役員選考委員会（叶顧問代理）	神田スポーツｾﾝﾀｰ
６月１７日	沖縄与論会総会（竹本顧問出席）	琉球ロイヤルホテル
同	東京与論会役員会	高田馬場戸塚地域ｾﾝﾀｰ
６月１９日	東京奄美会英会長叙勲祝賀会	上野「精養軒」
	（与論会佐藤顧問以下１５名出席）	
６月２３日	東京奄美会文化講演会	目黒｢三州倶楽部｣
６月２５日	鹿児島県との意見交換会（竹内会長出席）	永田町｢都道府県会館｣
７月　８日	関東徳之島町会総会（竹内会長出席）	芝「弥生会館」
７月12～17日	奄美物産展(14日：与論デー)	東武デパート
７月１５日	関東伊仙町会85周年記念総会	大井町きゅりあん
	（叶顧問、竹内会長、福納幹事長出席）	
７月２２日	東京名瀬会総会（竹内会長出席）	四ッ谷「主婦会館」
７月２８日	東京奄美会拡大役員会（竹内会長出席）	神田スポーツｾﾝﾀｰ

８月　３日	前東十条小学校PTAOB会長瀬霜良一氏葬儀 （与論会より献花、竹内会長弔問）	東十条駅前ホール
８月１７日	沖洲会有志との懇親ゴルフ対抗戦(各2ﾁｰﾑ)	御殿場太平洋ｸﾗﾌﾞ ｳｪｽﾄ
８月１９日	関東大和会総会（福納幹事長出席）	目黒「さつき会館」
８月２０日 ～２１日	川畑政弘相談役葬儀 （献花、佐藤顧問弔辞奉読）	五反田「桐ヶ谷斎場」
８月２５日	東京与論会拡大役員会・暑気払い	高田馬場「土風炉」
９月　２日	東京龍郷会総会（竹内会長出席）	四ッ谷「主婦会館」
同	里山・慶天海十両昇進祝賀激励会 （竹内会長出席）	上野「精養軒」
９月　８日	関東天城町会総会（竹内会長出席）	大井町きゅりあん
９月１２日	東京奄美会チャリティゴルフ大会	大宮ゴルフコース
９月１７日	東京奄美会役員会、芸能祭実行委員会 （竹内会長、福納幹事長出席）	目黒「さつき会館」
９月１９日	東十条小学校元PTA会長菅沼由雄御尊父葬儀 （与論会より献花、佐藤顧問,竹内会長弔問）	東十条駅前ホール
９月２０日	東十条小学校与論との姉妹校盟約記念集会 （英奄美会会長、竹内会長出席）、	東十条小学校
９月２２日	東京喜界会総会（竹内会長出席）	大井町きゅりあん
９月２３日	和田州生氏与論写真展（竹内会長表敬）	市川市民ギャラリー
同	東京与論会役員会	新大久保地域ｾﾝﾀｰ
１０月　１日	名瀬奄美会顧問西田栄太郎氏葬儀 （与論会より弔電）	名瀬青葉社中央斎場
１０月　７日	東京笠利会総会（福納幹事長出席）	四ッ谷「主婦会館」
１０月　８日	第１１４回東京奄美会総会・芸能祭 （与論会関係７０余名参加）	大井町きゅりあん
１０月２１日	東京与論会拡大役員会	新大久保地域ｾﾝﾀｰ
１０月２８日	関東宇検村会総会（青島副会長出席）	大井町「日本民謡会館」
１１月１１日	東京与論会 **会員のつどい**	大井町「日本民謡会館」

平成２４年度

自　平成２４年１１月１１日
至　平成２５年１２月　１日

（平成２４年）

１１月１１日	会員のつどい・懇親会	
１２月　１日	東京奄美会拡大役員会・忘年会	五反田東興ホテル
１２月　８日	与論会・沖洲会合同忘年会(与論会主催) （当会より１８名､沖洲会より２０名出席）	高田馬場「土風炉」
１２月２３日	東京奄美会青年部主催ソフトボール大会	舎人公園

（平成２５年）

１月２０日	東京奄美会新年賀詞交歓会(与論20名参加)	上野静養軒
２月１０日	東京与論会拡大役員会	高田馬場「土風炉」
３月　３日	東京奄美会役員会	目黒「三州倶楽部」
３月　９日	東京与論会９０周年実行委員会	高田馬場「土風炉」
３月２５日	東十条小学校卒業式（竹内会長出席）	東十条小学校
３月　２日	国土交通省奄振審議会聴講（竹内聴講）	国土交通省会議室

４月　６日	全国与論会理事会（佐藤顧問、竹内出席）	大牟田市
４月　７日	奄美ﾄﾞｩｼの会主催千代皇十両昇進祝賀会 （佐藤、竹本、叶顧問、村田相談役、竹内出席）	上野精養軒
４月　８日	東十条小学校入学式（佐藤顧問出席）	東十条小学校
４月２１日	東京与論会役員会、９０周年実行委員会	高田馬場「土風炉」
４月２１日	東京与論会役員会（執行部会）	高田馬場「土風炉」
４月２８日	入来武久氏道場落成祝賀会 （佐藤、竹本顧問、竹内会長他出席）	川崎入来新道場
４月２９日	原富村さんを偲ぶ会 （ご遺族、同氏ゆかりの与論会関係者全30名出席）	三州倶楽部
５月１１日	東京奄美会役員会	三州倶楽部
５月１１日	九重部屋主催千代皇十両昇進祝賀会 （与論町長池田後援会長等与論から10名程度 顧問、会長、会員等東京与論会関係者約40名）	浅草ビューホテル
５月１２日	鹿児島与論会総会、敬老会 （佐藤、叶顧問、村田相談役、竹内、山喜　全５名）	鹿児島ｼﾞｪｲﾄﾞｶﾞｰﾃﾞﾝﾊﾟﾚｽ
５月１２日	東京住用会総会（遠山副会長出席）	四ッ谷主婦会館
５月１８日	有志15名で千代皇応援（５月場所）	両国国技館
５月１９日	第１６回渋谷・鹿児島おはら祭り （女性部９名出演、応援団１０名）	渋谷駅前
５月２２日	広告委員会打合せ（叶顧問、竹内、山喜）	大井町土風炉
６月　１日	東十条小学校運動会 （女性部９名、竹内、池田参加）	東十条小学校校庭
６月　１日	ヨロン島ファン感謝祭	日比谷公会堂
６月　２日	東京沖州会１００周年記念総会 （竹内、福納、青島、五十嵐出席）	アルカディア市ヶ谷
６月　８日	東京奄美会主催文化講演会（与論会7名参加）	四ッ谷主婦会館
６月　８日	昭和40年生同窓会（吉井裕信幹事） 会長招待参加、与論会のＰＲ	赤坂見附
６月１５日	９０周年記念誌＆広告委員会 （会長、両委員会委員全１０名）	高田馬場「土風炉」
６月２３日	東京与論会役員会（執行部会）	高田馬場戸塚地域ｾﾝﾀｰ
７月　７日	関東徳之島町会総会（遠山副会長出席）	弥生会館
７月　７日	故川畑政弘相談役１周忌 （佐藤、竹本、叶顧問、竹川、竹内参列）	南大沢墓地
７月１４日	関東伊仙町会総会（竹内会長出席） 奄美の観光と物産展	大井町きゅりあん
７月１７日 ～２３日	（与論デー（20日）、竹内他与論関係者多数）	町田小田急百貨店
７月２１日	東京名瀬会総会（竹内会長出席）	四ッ谷主婦会館
７月２７日	東京奄美会拡大役員会 （佐藤、我謝顧問、竹内、福納、五十嵐出席）	目黒三州倶楽部
７月２８日	関東大和会総会（竹内会長出席）	目黒さつき会館
８月　４日	関東天城町会総会（佐藤顧問、竹内会長出席）	大井町きゅりあん
８月　４日	千代皇関の十両復帰を祝う会（後援会と共催） （九重親方、千代皇、顧問、相談役他全100余名参加）	目黒三州倶楽部

８月１０日	９０周年記念座談会 （佐藤、竹本、西田、我謝、叶顧問、永井相談役、 竹内、遠山、池田俊、福納　以上１０名）	目黒さつき会館
８月１８日	東京与論会拡大役員会・暑気払い	高田馬場「土風炉」
８月２４日	東京奄美会役員会 （竹内会長、福納幹事長、五十嵐部長出席）	目黒三州倶楽部
９月　８日	東京龍郷会総会（竹内会長出席）	四ッ谷主婦会館
９月１５日	東京笠利会総会（竹内会長出席）	四ッ谷主婦会館
９月１６日	入来道場祝勝会 （竹内会長挨拶、福納幹事長、佐藤事務局長出席）	武蔵小杉ﾎﾃﾙ精養軒
９月１８日	東京奄美会チャリティゴルフ大会 （与論：４組１４名参加）	大宮ゴルフコース
９月２０日	東十条小学校与論との姉妹校盟約記念集会 （奄美会英会長、藤井幹事長,竹内会長出席）	東十条小学校
９月２１日	東京奄美会決起役員会 （竹内会長、福納幹事長、五十嵐部長出席）	神田清瀧
９月２２日	関西与論会総会 （佐藤顧問、竹内会長、竹内副幹事長出席）	尼崎市園田地区会館
９月２３日	東京喜界会総会（竹内会長出席）	大井町きゅりあん
１０月　６日	東京奄美会総会・奄美群島復帰６０周年記念式典 （与論町長来賓、与論会会員110余名参加）	渋谷公会堂
１０月１３日	東京与論会役員会	高田馬場戸塚地域ｾﾝﾀｰ
１０月２７日	関東宇検村会総会（福納幹事長出席）	大井町「日本民謡会館」
１１月　３日 ～４日	元東十条小学校校長鈴木秀夫氏葬儀 （東京与論会より献花、会長他役員参列）	日本典礼 西新井会館
１１月１０日	東京与論会拡大役員会	高田馬場「土風炉」
１１月１６日	東京奄美会役員会	神田スポーツｾﾝﾀｰ
１１月１７日	東京与論会９０周年実行委員会	目黒三州倶楽部
１１月２３日	与論町町制５０周年記念式典・祝賀会 （東京より竹内他 全１３名出席）	与論町砂美地来館
１１月２４日	東京奄美会役員会（10/6記念大会慰労会）	目黒三州倶楽部
１２月　１日	東京与論会 **創立九十周年記念総会**	アルカディア市ヶ谷

○ 主な会務活動

１）東京与論会**会員のつどい**及び**創立九十周年記念総会・式典・祝賀会**の企画、準備及び実施

２）東京奄美会及び奄美各郷友会との交流活動

３）全国与論会及び各地与論会との交流活動

４）与論３小学校と東十条小学校との交流支援

５）支援賛助会の会費収納事務、支援活動の展開（９頁参照）

以上の通りご報告致します。

東京与論会　会　長　竹内　英健
幹事長　福納　敏郎

（議案 2）　平成23･24年度　会計報告

平成23年度

自　平成23年10月21日
至　平成24年10月20日

収入の部		支出の部	
・前期繰越金	724,702	・総会費用	1,014,516
・総会収入	1,050,000	・事務通信費	255,615
・支援賛助支援金	800,000	・渉外活動費	371,472
・会議収入	16,040	・活動支援費	200,000
・雑収入	55	・会議費	27,464
		・慶弔費	93,245
		・広告宣伝費	162,225
		・次期繰越金	466,260
合計	2,590,797	合計	2,590,797

平成24年度

自　平成23年10月21日
至　平成24年11月10日

収入の部		支出の部	
・前期繰越金	466,260	・会員のつどい費用	881,841
・会員のつどい収入	968,200	・事務通信費	267,670
・支援賛助支援金	800,000	・渉外活動費	300,000
・会議収入	3,000	・活動支援費	200,000
・雑収入	43	・会議費	10,035
		・慶弔費	15,750
		・広告宣伝費	51,735
		・次期繰越金	510,472
合計	2,237,503	合計	2,237,503

平成25年12月1日
東京与論会　会　長　　竹内　英健
会計長　　本畑　裕一

（議案 3）　監査報告

平成23年10月21日から平成25年11月10日までの会計勘定に関する収入及び支出金について帳票及び領収書などにより監査したところ、正確に記録されていたことを認めます。

平成25年12月1日
東京与論会　監査役　　野口　弘明
山　松森
吉川　富盛

東京与論会支援賛助会
平成２３・２４年度 支援状況報告

会員の多くの方々より東京与論会支援賛助会の趣旨にご賛同を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで、当会も平成１２年度発足以来１０余年経過し、当初目標としておりました会員数１００名を大きく超え、２４年度末現在１２４名の方々のご入会をいただいております。しかしながら、ここ数年会費の収納状況が芳しくございません。状況をご拝察いただき、引き続きよろしくお願い致します。

毎年、会員の方々から当会にお寄せいただきました会費より、毎年80万円の東京与論会の活動に対する支援を行っております。その結果、下記の通りの収支状況となっておりますことをご報告致します。併せまして、ご入会会員の方々のご芳名を記して支援状況報告とさせていただきます。

平成２５年１２月１日　　東京与論会　会　長　　竹内　英健
東京与論会支援賛助会事務局　竹村　福孝

（記）

平成２３・２４年度　東京与論会支援賛助会
収　支　計　算　書
（平成２３年１０月２１日～平成２５年１１月１０日）

○ 収　入		2,007,280 円
１．２２年度よりの繰越金	542,280 円	
２．２３年度会費収入（ 71口）	750,000 円	
３．２４年度会費収入（ 72口）	715,000 円	
○ 支　出		2,007,280 円
１．東京与論会支援金（２３年度活動支援分）	800,000 円	
２．同　　上　　（２４年度活動支援分）	800,000 円	
３．事務経費（２３年度分）	40,028 円	
４．同　　上（２４年度分）	37,086 円	
５．次年度支援資金として留保	330,166 円	

会員ご芳名　（全124名）　　敬称略５０音順

青島ウメ、阿多照夫、五十嵐千代、池田俊明、池田信忠、池畑健志、池畑福栄、井坂好文、和泉孝位、石井登喜子、磯野徳八郎、 市来一彦、伊藤敏久、伊東伯良、入来武久、岩田みよ、大内昭男、沖実治大内ｷﾇｴ、大野ﾋﾛ子、岡崎ﾐﾂ子、、尾張涼子、柿沼富子、我謝敬子、我謝ﾐﾄﾞﾘ、上谷清三、金久裕次、叶実夫、叶生二、叶正雄、叶正義、川上藤納、川上道雄、川田政雄、川田満、川畑敬、川畑晴男、川畑政弘、喜山律子、黒田泰治、坂尻和子、坂元義宏、佐藤一英、佐藤持久、佐藤米昭、塩谷三枝子、重村恵美子、白石敬一郎、杉茂蔵、杉正樹、高井高盛、高田良枝、高橋ﾏﾂﾉ、竹博一、竹内先安、竹内英健、竹内康良、竹川信廣、竹下賢、竹生守雄、竹村福孝、竹本登、竹本典秀、立村恵利、谷口納富、照元康、谷山ﾐﾁｴ、遠山浩光、戸田初枝、富岡行沢、富永恵介、富山永信三、直野健次、永井常誠、永井治雄、中田満、 西田規子、西田富士雄、野口弘明、野上登美子、長谷川雅子、林一男、原田成治、原田照三、原田安雄、久清秀、平田裕信、福島範子、福島徹、福納敏郎、藤沢裕子、藤山冨美子、堀切智慧子、堀吉廣、堀行隆、松栄勝、松栄吉、松村博文、峰岸恭子、村田健、村田春子、村田力蔵、村山修、本徳仁、本園金盛、本畑義夫、山松森、山賀茂弘、山喜義則、山口純子、山下厚江、(山口鷹雄)、山下勝利、山下清男美、山下心一、山下政弘、山下義弘、山路洋子、山村達子、山西純子、山西由美恵、横山康明、吉川富盛、米谷ﾋｻ代

現在未入会会員の支援会入会案内中です！→詳細は最後の頁へ

（議案 4）

役 員 改 選 の 件

東京与論会会則第９条（選任方法）に基づき、役員会において選任した新役員の構成（案）は以下の通りである。

会　長	竹内　英健			
副会長	青島　ウメ	堀行　　隆	和泉　孝位	
	遠山　浩光	（退任；竹下 賢、山下清男美）		
監査役	野口　弘明	山　　松森	吉川　富盛	

（参考；会長委嘱役員（一部））

◇ 幹事長　　福納　敏郎

東京与論会会則（抜粋）

（役　員）第６条　本会に次の役員を置く。

会　長　１名　　副会長　若干名　　監査役　３名

（以下略）・・・・・・

（任　期）第７条　役員の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。

（選任方法）第９条　会長、副会長、監査役は役員会で選任し、総会において承認を得る。

２．幹事長、会計長その他の役員は会長がこれを委嘱する。

東京与論会　（現）役員名簿

顧　　問	池畑　福栄	副 会 長	竹下　　賢	幹　　事	大内　昭男
〃	佐藤　持久	〃	山下　清男美	〃	大野　ヒロ子
〃	竹本　　登	〃	遠山　浩光	〃	尾張　涼子
〃	山下　心一	〃	和泉　孝位	〃	塩谷　三枝子
〃	西田　富士雄	幹 事 長	福納　敏郎	〃	重村　恵美子
〃	我謝　みどり	副幹事長	池田　俊明	〃	白石　敬一郎
〃	叶　　生二	〃	横山　康明	〃	竹内　　進
相 談 役	村田　　健	〃	竹内　洋子	〃	竹内　康良
〃	山下　政宏	〃	入来　武久	〃	照　　元康
〃	（川畑　政弘）	〃	中山　敏彦	〃	直野　健次
〃	杉　　茂蔵	会 計 長	本畑　裕一	〃	林　　一男
〃	竹川　信廣	副会計長	立村　ナヘ子	〃	原田　照三
〃	本畑　義夫	事務局長	佐藤　一英	〃	堀行　洋子
〃	阿多　照夫	副事務局長	竹村　福孝	〃	堀行　光昭
〃	冨永　恵介	女性部長	五十嵐　千代	〃	増尾　光樹
〃	永井　常誠	同副部長	竹澤　くみ子	〃	益田　俊弘
監 査 役	野口　弘明	〃	藤沢　裕子	〃	村田　成亮
〃	山　　松森	青年部長	喜島　春樹	〃	本園　金盛
〃	吉川　富盛	同副部長	福　　孝昭	〃	本畑　ミチエ
会　　長	竹内　英健	〃	向井　秀一	〃	山喜　義則
副 会 長	青島　ウメ	幹　　事	阿多　ミサ子	〃	山口　純子
〃	堀行　　隆	〃	池田　信忠		

ご来賓・会友 ご芳名

（敬称略　順不同）

＜与論町関係＞

与論町長	南　政吾
与論町議会議長	大田　英勝
○与論町栄誉町民/当会顧問	佐藤　持久
同　令夫人	佐藤　文子
与論町前教育長	田中　國重
同　令夫人	田中　富代
与論町商工観光課長	大馬　福徳
ヨロン島観光協会会長	田畑　克夫
医療法人龍美会理事長	川畑　益雄
有村酒造(株)代表取締役	有村　晃治
元与論郵便局長	永野　展秀
かりゆしBAND リーダー	田畑　哲彦
同　ボーカル	牧　美也子

＜全国与論会関係＞

全国与論会会長/鹿児島与論会会長	嘉味田洋祐
同　幹事長/同副会長	坂本　哲郎
関西与論会顧問/関西奄美会会長代理	牧　朋亮
同　監査役	元井　健命
同　会長	本園　茂徳
同　副会長	川畑　みつ
同　副会長	牧　みよ子
同　幹事長	岩村　裕子
同（与中卒７期同窓生）	高山　文子
大牟田荒尾地区与論会会長	町　謙二
同　幹事	砂川真佐江
鹿児島与論会副会長	仁　光子
同　監査役	竹下　菊雄
同（与中卒７期同窓生）	川村　典義
同（　同　）	田畑　玲子
同（　同　）	森　利子
同（　同　）	港　フジエ
中部与論会会長	竹吉　廣一
同　幹事長	坂本　勝利
同（与中卒７期同窓生）	入来　茂福

＜東十条小学校関係＞

東京都北区長	花川與惣太
同北区教育長	内田　隆
○同北区教育委員長	森下　淑子
東十条小学校校長	福田　猛
東十条小学校PTAOB会会長	小林　勇
○東十条小学校前校長	関口　修司
○同 故鈴木秀夫元校長令夫人	鈴木メイ子
○東十条小学校PTAOB会顧問	高木　知子
○食事処里味代表	鈴木　竹子

＜感謝状贈呈者（東京与論会関係）＞

○当会第11代会長/現顧問	竹本　登
○当会第14代会長/現顧問	西田富士雄
○当会第15第会長/現顧問	我謝みどり
○当会第16代会長/現顧問	叶　生二
○当会相談役故原富村 令夫人	原　信子
○当会相談役	黒田　泰治

＜奄美郷友会関係＞

東京奄美会会長	英　辰次郎
同　幹事長	藤井　壮望
関西奄美会会長/関西与論会顧問	高田　俊秀
東京喜界会会長	友田　英助
東京笠利会会長	郡　富士義
東京龍郷会会長	碇山　隆宏
東京名瀬会会長	徳岡　辰寛
東京住用会会長	野沢　有得
関東大和会会長	森山　純一
関東宇検村会会長	徳田　末廣
東京瀬戸内会会長	山下　義光
関東天城町会会長	記原正一郎
関東伊仙町会会長	小坂　田上
東京沖洲会会長	竹林　學
鹿児島県東京事務所	
ふるさと交流課長	富窪　和人
行政第三課長	厚ヶ瀬英俊
流通情報課長	武田　悟志
企業誘致課長	井立田　剛
奄美市東京事務所長	松原　昇司
南海日日新聞社支社長	牧　保夫

＜文化･ｽﾎﾟｰﾂ･芸能交流＞

東京文化交流親善コミュニティー会長	村川　茂治
同　副会長	三須　敏子
(株)日本典礼代表取締役会長	宮地　正治
○喜扇本流２代目宗家	川口　弘美
○琉球舞踊/与論民謡同好会「美友会」代表	永井　常誠
新極真会入来道場	入来　建武

＜会 友 の 方 々＞

東十条小学校	澤田 清志、森 美香穂
東京喜界会	吉岡 茂夫、花岡 正美
同	外内 真一、保　賀典
東京笠利会	手島 義人
東京龍郷会	和田 純男、津島 祐治
東京名瀬会	川崎 末一、森垣登代治
東京住用会	屋島 範光
関東大和会	永野　章
関東宇検村会	宝村 晃永
東京瀬戸内会	千葉 真弓
関東徳之島町会	米崎 七郎
関東伊仙町会	岡村 隆文
東京沖洲会	平山 芳孝、中野　勲
同	内　弘志,石原ミヤ子
東京奄美会執行部	樺山 博昭、池田 秀秋
同	中井 良子、田川ホズエ
同	吉見　修
ＩＴＵ国際会議議長	津川 清一
よろんを愛する会清水支部代表	川口 真寿
「与論の犬を救おう」代表	井上由美子

○印：感謝状贈呈者

東京与論会創立９０周年記念式典

感 謝 状 贈 呈 者 ご 芳 名

（敬称略）

No.	ご　芳　名	推 薦 理 由 （ ご 功 績 ）
1	佐藤　持久	第１０代会長並びに顧問として、与論町、全国与論会及び奄美郷友会との連携など、当会の発展に多大な貢献
2	竹本　　登	第１１代会長並びに顧問として、与論町及び全国与論会との連携など、当会の発展に多大な貢献
3	山下　心一	第１２代会長並びに顧問として、奄美郷友会との連携や姉妹校盟約の推進に尽力するなど、当会の発展に多大な貢献
4	福永　　満（故人）	第１３代会長並びに顧問として、姉妹校盟約の推進に尽力するなど、当会の発展に多大な貢献
5	西田富士雄	第１４代会長並びに顧問として、当会の組織、運営面での充実化を図るなど、当会の発展に多大な貢献
6	我謝みどり	第１５代会長並びに顧問として、当会及び奄美郷友会における女性部活動の活性化推進など、当会の発展に多大な貢献
7	叶　　生二	第１６代会長並びに顧問として、当会の財政基盤の確立を図るなど、当会の発展に多大な貢献
8	黒田　泰治	相談役として、永年に亘り当会の活動に関する助言指導など、当会の発展に寄与
9	原　　富村（故人）	相談役として、永年に亘り当会の活動に関する助言指導など、当会の発展に寄与
10	鈴木　秀夫（故人）	東十条小学校第１１代校長として、上京与論児童の激励支援など、姉妹校盟約の推進に尽力
11	森下　淑子	東十条小学校第１２代校長として、上京与論児童の激励支援など、姉妹校盟約の推進に尽力
12	菅原　健次	東十条小学校第１３代校長として、上京与論児童の激励支援など、姉妹校盟約の推進に尽力
13	関口　修司	東十条小学校第１４代校長として、上京与論児童の激励支援など、姉妹校盟約の推進に尽力
14	高木　知子	東十条小学校ＰＴＡＯＢ会役員として、上京与論児童の激励支援など、姉妹校盟約の推進に尽力
15	鈴木　竹子	与論三小学校児童達への食事等、生活面での支援を通して、姉妹校盟約の推進に尽力
16	小田和弘美	美友会の指導並びに芸能出演を通して、会員の親睦に多大の貢献
17	美　友　会（代表：永井常誠）	当会の総会等での芸能出演を通して、会員の親睦に多大の貢献

東京与論会に対する永年に亘るご貢献に対しまして
心よりの感謝とお礼を申し上げます。

東京与論会創立九十周年記念事業への
協賛申込者ご芳名

（１１月２０日現在）　　・印非会員、敬称略、順不同（単位:円）

ご芳名	協賛額	ご芳名	協賛額	ご芳名	協賛額
・有村　晃治 様	150,000	・竹下　　賢 様	30,000	・ﾌﾟﾘｼｱﾘｿﾞｰﾄﾖﾛﾝ	10,000
小田　和彦	100,000	・竹村　英吉	30,000	・㈲有村運送店 様	10,000
・川上　哲三	100,000	・東京沖洲会	30,000	池畑　寿哲	10,000
・川畑　益雄	100,000	遠山　浩光	30,000	伊藤　敏久	10,000
佐藤　持久	100,000	美　友　会	30,000	伊東　伯良	10,000
竹内　英健	100,000	野口　弘明	30,000	大野ヒロ子	10,000
竹本　　登	100,000	福納　敏郎	30,000	尾張　涼子	10,000
(故)原　富村	100,000	増尾　光樹	30,000	我謝　充弘	10,000
町永純一郎	100,000	・武東　範光	30,000	川上　藤納	10,000
基　佐江里	100,000	本畑　義夫	30,000	・川畑　辰雄	10,000
山喜　義則	100,000	山下　義弘	30,000	川畑　　力	10,000
・吉田　康寿	100,000	与中卒９期生	30,000	黒田　泰治	10,000
・東京ﾆｭｰｽ通信社	100,000	与中卒10期生	30,000	・児玉伊佐雄	10,000
ｱｸﾞﾝﾁｬｰ会(ｺﾞﾙﾌ)	67,000	与中卒16期生	30,000	・酒匂　兼峯	10,000
入来　武久	50,000	阿野　勝丞	20,000	塩谷三枝子	10,000
・大田　重信	50,000	五十嵐千代	20,000	・JA奄美与論事業部	10,000
叶　　実夫	50,000	池田　俊明	20,000	・高井　克彦	10,000
川上　富達	50,000	・池田　文秀	20,000	竹　　賢一	10,000
・関野　　進	50,000	和泉　孝位	20,000	竹内　康良	10,000
竹波　栄喜	50,000	市来　和彦	20,000	竹川　信廣	10,000
林　　一男	50,000	・市来　盛廣	20,000	立村　恵利	10,000
堀行　　隆	50,000	川口　弘美	20,000	谷口　納富	10,000
松村　博文	50,000	佐藤　一英	20,000	富岡　行沢	10,000
・柳田　琢也	50,000	・高井　克彦	20,000	仲野　伸治	10,000
・ﾛﾎﾞﾃｯｸ与論工場	50,000	高井　高盛	20,000	中山　敏彦	10,000
横山　康明	50,000	竹村　福孝	20,000	南海日日新聞社	10,000
吉井　清信	50,000	・田畑　克夫	20,000	・梅花　重夫	10,000
与中卒15期生	50,000	・東京名瀬会	20,000	・ﾊﾟﾅｳﾙ診療所	10,000
・龍野運送店	40,000	直野　健次	20,000	原田　安雄	10,000
青島　ウメ	30,000	永井　常誠	20,000	平田　裕信	10,000
阿多　照夫	30,000	・基　ひとみ	20,000	藤沢　裕子	10,000
我謝　孟俊	30,000	山　　松森	20,000	堀切智慧子	10,000
・阿野　和郎	30,000	・山下　心一	20,000	前田　良助	10,000
・岩下　正輝	30,000	佐藤　栄久	20,000	益田　幸秀	10,000
叶　　生二	30,000	竹澤　賢司	20,000	・与論空港(株)	10,000
川内　恵司	30,000	西田富士雄	20,000	・南陸運(株)	10,000
川畑　隆駿	30,000	ｱｸﾞﾝﾁｬｰ会	20,000	村田　　健	10,000
日下部　浩	30,000	与中卒12期生	20,000	本園　金盛	10,000
小勝　竹雄	30,000	与中卒17期生	20,000	・柳田　章彦	10,000
坂本　哲郎	30,000	与中卒18期生	20,000	山下　久江	10,000
渋谷　洋子	30,000	与中卒19期生	20,000	山下　政宏	10,000
杉　　茂蔵	30,000	与中卒20期生	20,000	吉川　富盛	10,000
高井　克彦	30,000	・ﾖﾛﾝ島観光協会	20,000		

東京与論会　９０年のあゆみ

主として「東京奄美会100年の歩み」より抜粋、再構成）

年　代	事　　項
(大正12年～昭和３年)　　初代会長　龍野源徳、幹事長　市来平一	
T12．秋 (1923年) S２．１	在京与論相互共済会発足　　会の趣旨～「団結と相互扶助」 発起人～龍野金澄、龍野禎順、椛山喜美信、児玉祐典、西田宮川、 市　恵沢、龍野通雄、山下敏捷、西田当元、青山喜美沢 在京与州人会と改称
(昭和３年～昭和10年)　　２代会長　龍野禎順、幹事長　市来平一	
	初代から会長交代、他の役員は全員留任。 集会は会長宅又は役員宅で年１回開催。
(昭和10年～昭和28年) ３代会長　勇清渡美、幹事長 市来平一、山下為吉	
S10～ S16～22 S23．５ S28．５	この時代から会員も増え、上野公園や王子飛鳥山公園で、各自 一重一瓶持参で花見をしながら総会開催。 太平洋戦争のため、集会禁止令又は戦災により総会一時中断。 戦後、総会再開、会員の所在把握に苦労。 西田当元氏は、奄美群島日本復帰東京対策副委員長として、 米マーフィ大使を訪問し、復帰嘆願陳情を行う。
(昭和28年～昭和36年)　　４代会長　椛山喜美信、幹事長　山下為吉	
S30．５	北区赤羽公民館（館長龍野定一)にて約100名の会員が出席して 総会開催。以後36年まで総会は同会場にて開催。
(昭和36年～昭和40年)　　５代会長　児玉祐典、幹事長　白井盛永	
S36. S38．１ S40.	琴平神社境内に日本復帰記念碑建立。 与論村から与論町に町政施行。祝賀会に東京からも多数出席。 総会会場は平和島温泉会館へ。同総会にて会旗制作決議される。
(昭和40年～昭和44年) ６代会長　西田当元、幹事長 白井盛永、池畑福栄	
S43．４ S43．９ S44.	全国各地区の与州会の連携を図るため、全国与論会が発足。 初代会長に西田当元氏、幹事長に池畑福栄氏が就任。 東京与論会（与州会）創立45周年記念式典を、全国与論会総会 と併せ内外から多数の来賓を迎え平和島温泉会館にて盛大に開 催。新会旗も華を添える。東京与州会から東京与論会へ改称。 創立45周年記念誌発行。
(昭和44年～昭和46年)　　７代会長　池畑福直、幹事長　池畑福栄	
S44．３ S45.	鹿児島田代町と与論町が姉妹町盟約、池畑会長祝賀会出席。 高千穂神社、琴平神社改築、池畑幹事長他祝賀会出席。
(昭和46年～昭和54年)　　８代会長　山下為吉、幹事長　佐藤持久	
S50．11 S51．５ S51．11 S52．９	与論小学校創立100周年記念式典祝賀会に会長、幹事長他出席。 与論空港開港、祝賀会に会長、幹事長他出席。 山下会長東京奄美会幹事長就任。 総会と家族大運動会を北区富士見中学校校庭にて250余名が 参加して開催。(校区対抗、優勝は那間校区)
(昭和54年～昭和60年) ９代会長 白井盛永、幹事長 竹本 登、山下心一	
S55．９	東京都北区東十条小学校と与論・茶花・那間の３小学校との 姉妹校盟約、仲介は山下為吉顧問。校長は石森太郎先生。
S58．３ S58.11	ヨロンパナウル王国建国。白井会長東京大使に任命される。 与論町とギリシャ国ミコノス市と姉妹都市盟約。 白井会長ミコノ　ス市へ親善訪問。
(昭和60年～平成３年)10代会長 佐藤持久、幹事長 原田献三、西田富士雄	
S60. S61.11	定期総会会場を中野区高円寺根津会館に移して開催。 第13代東京奄美会会長に山下為吉顧問が就任。(H2.11退任)
(平成３年～平成５年)　　11代会長　竹本 登、幹事長　叶 生二	
H３. H４.11 H５．５	定期総会会場を目黒さつき会館に移して開催。 東京奄美会幹事長に佐藤持久顧問が就任。 全国与論会第13代会長に佐藤持久氏、幹事長に叶 生二氏就任。
(平成５年～平成11年)　12代会長 山下心一、幹事長 叶 生二、堀行 繁	
H５.11 H７．１ H７.11 H９．４ H10.11	与論町町制施行30周年記念式典挙行。当会より多数出席。 阪神淡路大震災発生。関西与論会会員多数被災。当会会員より 広く募金、義援金を募る。 与論小学校創立120周年記念式典挙行。当会より多数出席。 全国与論会総会を与論町役場にて開催。 東京奄美会創立100周年記念大会が東京フォーラムにて盛大に 挙行。与論町より十五夜踊り出演。
(平成11年～平成13年)　　13代会長　福永 満、幹事長　叶 生二	
H12．２ H12.12	東京与論会支援賛助会設置決定、会員募集開始。 茶花小、那間小創立100周年記念式典挙行、当会より多数出席。
(平成13年～平成15年)　　14代会長　西田富士雄、幹事長　堀行 隆	
H13.10 H14.10	会則改正、総会を隔年開催とする。 第１回文化祭（総会非開催年）開催。以後総会と交互開催。
(平成15年～平成19年)　　15代会長　我謝みどり、幹事長 竹内英健	
H15．９ H15.11 H18.10 H18.11 H18.11	奄美復帰50周年記念式典開催。与論会より芸能及び記念誌編纂協力 与論町町制施行40周年記念式典挙行。当会より多数出席。 第18代東京奄美会会長に佐藤持久顧問就任。(H22.10退任) 第３回文化祭会場を大井町日本民謡会館に移して開催。 全国与論会第19代会長に竹本 登氏、幹事長に竹内英健氏就任。
(平成19年～平成21年)　　16代会長　叶 生二、幹事長　山下清男美	
H20．４	東京与論会公式ホームページ開設（旧ＨＰ更新）
(平成21年～現在)　17代会長 竹内英健、幹事長 遠山浩光、福納敏郎	
H21.11 H22．９ H22．９ H23．３ H25.11 H25.12	故山下為吉氏、佐藤持久氏が与論町民栄誉賞受賞(栄誉町民)。 東十条小学校と与論３小学校との盟約３０周年記念式典。 第５回文化祭を「会員のつどい」と改称し開催。 東日本大震災発生（11日)、特段の被災会員無し。 与論町町制施行50周年記念式典挙行。当会より多数出席。 東京与論会創立９０周年記念式典・祝賀会開催

与論町台風２４号の被災状況（奄美新聞ＨＰより）

災害義援金の募集について

１０月７日に襲来した台風２４号により、町内全域において家屋倒壊等大きな被害が発生し、昨年に続き災害救助法が適用されました。これを受けて、与論町及び日本赤十字社で、下記の義援金窓口 が設置され、被災者支援のための「義援金」募集を行っています。

◆（与論町）**与論町台風24号災害義援金**　（案内チラシ；本会場内支援コーナーにて）
受付期間：平成25年10月15日～平成25年12月31日
受入口座：取扱金融機関～奄美大島信用金庫/あまみ農業共同組合/ゆうちょ銀行
口座名義～与論町台風２４号災害義援金
いずれの口座からも、受付期間中は振込手数料無料

◆（日本赤十字社）**鹿児島県奄美南部台風24号災害義援金**
受付期間：平成25年10月18日～平成25年12月17日
受付口座:取扱金融機関～鹿児島銀行鴨池支店（郵便振替口座開設なし）
口座名義～日本赤十字社鹿児島県支部長
振込手数料免除

当会場の与論町災害支援コーナーに、**募金箱** を設置しています。

たましいの島

（ＴＢＳ「世界ウルルン滞在記」主題歌）
作詞　古川　誠二
作曲　田畑　哲彦
（歌・かりゆしバンド）

一、はるか日本の南に　魂の住む島があるという
美しい海と珊瑚に　包まれた島だという
そこに行けば　懐かしい人に会えるという
はるか南の島は　魂の島だという

二、遠い昔の話が　語られている島があるという
美しい花と緑に　囲まれた島だという
そこは不思議な　言葉と唄があるという
人は南の島を　ユンヌの島だという

三、心が淋しいときに　訪れる島があるという
優しい愛と自然に　抱かれた島だという
そこに行けば　命を守る暮らしがあるという
はるか南の島は　神様の島だという

四、誰もがみんな　自分の家で死ねる島があるという
家族に守られて　魂の先立つ島だという
そこに行けば　誰もが命永く生きるという
はるか南の島は　幸せの島だという

辺戸岬

作詞・曲　川畑　アキラ
（歌・寿里）

辺戸の岬に　ひとりたたずめば
愛しいあなたの背中が見えて　切なくなる
けなげに海超える　綾蝶（ぱぴる）のように
飛んで行きたい　あなたの元へ　いまだ叶わぬ夢

北緯二十七度線で　引き裂かれた二人の想い
夜の海に船を走らせ　あなたに逢いに行きたい

「いつの日にか一緒になる」と言ってくれたから
『ずっとここで待っています。』辺戸岬で

なぜにあなたの親方様は
二人の恋を許さないのか　わからないけれど
それでもあなたは人目を忍んで
夜の海に船を出して逢いに来てくれた

北緯二十七度線で　あなたがうたってくれたうた
私の心に明かり灯した　夜のかがり火のように

燃やし続けて　二人の想い　消えないように
かがり火　焚いて　私もうたう　夜が明けるまで
鳥も魚も想いもうたも　黒潮を行き来するのに
心の線を引いているのは　いつも人の世だから

いつの日にか　一緒になって　抱き合えたなら
かがり火焚いて　うたいましょう　あの日のうたを
いつまでも　消せない炎　時代の風が吹いても
ずっと　ここで　燃え続けています　辺戸岬で

辺戸岬で・・・

えらぶ百合の花

沖永良部民謡

一、えらぶ海の青さ　サンゴ花咲かちヤリクヌ
島や百合ぬ花　咲かちよー　美らさ

＊　アングァヨーサトゥ
ナイチャシュンガ　シュンガ

二、暗川（くらごー）水汲みや　美童ぬ仕事ヤリクヌ
百合よ枯れるなよ　育ちよー給れ
（＊印）

三、えらぶ百合ぬ花　アメリカに咲かちヤリクヌ
うりが黄金花　島によー咲かさ
（＊印）

四、いかに横浜ぬ　波荒さ　あてぃむヤリクヌ
百合は捨てぃるなよ　島ぬよー宝
（＊印）

五、百合は島育ち　私達（わーちや）む島育ちヤリクヌ
えらでぃ選ばらぬ　人（ぴちゅ）によーなゆり
（＊印）

六、百合作（ちく）てぃ遊しば　砂糖（さた）作てぃ暮らさヤリクヌ
互に働ちゅてぃ　浮世ヨー渡ら
（＊印）

東京与論会支援賛助会への入会ご案内

■ 支援賛助会とは？

東京与論会の活動に対する財政的支援を目的として平成１２年に発足した東京与論会会員による支援組織です。

東京与論会の設立目的及びその活動内容に賛同しご入会して頂いた方々に年会費１万円を納入して頂き、その中から毎年一定額を東京与論会に支援金として拠出しています。

■ 現在の入会、支援状況は?

会の発足時は、呼びかけ当初ご入会頂いた７０余名の入会員でスタートしましたが、おかげさまで現在１２０余名までその支援の輪が広がっています。

しかしながら、ここ数年支援会員の方々からの会費納入率が低下してきており、充分な支援金（現在年８０万円）が用意できなくなりつつあります。

従いまして、支援会会員の方々に会費納入を促すと共に、改めて本支援会に未加入の与論会会員の方々に入会のご案内をするものです。

■ お問い合わせ、ご入会の方法など

支援会事務局にその旨お申し出頂きましたら、さっそくご案内をさせて頂きます。

ご入会のご意思を確認後、会費の振込用紙を送付いたします。

既にご入会頂いている支援会会員の皆様方には、例年５，６月頃に年会費の振込のご案内をさせて頂いております。

■ お問い合わせ先

東京与論会支援会 事務局　竹村　福孝　TEL＆FAX 046-254-5355

支援額、会員名等につきましては
本プログラム９頁をご覧ください